

三菱UFJフィナンシャル・グループ

# 平成22年度第1四半期決算ハイライト

平成22年7月30日

● 損益サマリー	2
● B/Sサマリー	3
● 貸出金・預金	4
● 国内預貸金利回り	5
● 貸出資産の状況	6
● 保有有価証券の状況	7

＜本資料における計数の定義＞

連結	：	三菱UFJフィナンシャル・グループ（連結）
2行合算	：	三菱東京UFJ銀行（単体）と三菱UFJ信託銀行（単体）の単純合算

(単位:億円)

## ● 業務純益

- 業務粗利益は金利低下や貸出金減少に伴う資金利益減少の一方、債券売却損益等市場関連収益の大幅な改善により増加
- 営業費は引続きグループワイドな経費削減の取り組みが進展し減少
- 以上の結果、実質業務純益は大幅に増加  
経費率も50%台半ばまで改善

## ● 与信関係費用総額

- 経済情勢の回復に伴い貸倒引当金繰入額の負担が減少し、大幅に改善  
2行合算に加え、その他子会社でも改善

## ● 株式等関係損益

- 売却益減少のほか、株式等償却の増加もあり減少

## ● 四半期純利益

- 四半期純利益は大幅に増加

<連結P/L>		21年1Q	22年1Q	増減
1	業務粗利益 (信託勘定償却前)	8,734	9,106	371
2	資金利益	5,552	5,016	▲536
3	信託報酬+役員取引等利益	2,577	2,482	▲94
4	特定取引利益+その他業務利益	604	1,606	1,001
5	うち国債等債券関係損益	178	783	604
6	営業費	5,415	5,151	▲264
7	経費率	62.00%	56.56%	▲5.43%
8	実質業務純益	3,318	3,954	636
9	与信関係費用*1	▲1,898	▲703	1,195
10	株式等関係損益	302	11	▲291
11	その他の臨時損益	▲359	▲271	87
12	経常利益	1,363	2,991	1,627
13	特別損益	29	▲113	▲143
14	法人税等合計	465	955	490
15	四半期純利益	759	1,663	904
16	与信関係費用総額*2	▲1,898	▲703	1,195
17	うち2行合算	▲733	▲221	512

\*1 与信関係費用=与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益内)

\*2 与信関係費用総額=与信関係費用+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)

(▲は費用)

<ご参考>

(単位:円)

18	1株当たり利益	6.52	11.76	5.24
19	連結ROE *3	4.12%	7.98%	3.86%

\*3

(四半期純利益×4)÷非転換型優先株式年間配当相当額

{(期首株主資本合計-期首発行済非転換型優先株式数×払込金額+期首為替換算調整勘定)

×100

+{(四半期末株主資本合計-四半期末発行済非転換型優先株式数×払込金額+四半期末為替換算調整勘定)}÷2

## ●貸出金

- 資金需要の低迷により国内外における法人貸出を主因に減少

## ●有価証券

- 国債投資を中心に増加

## ●預金

- 個人預金は増加も、国内外における法人預金を主因に減少

## ●純資産

- 優先株式の取得・消却などにより減少

## ●開示債権

- 開示債権の増加により、開示債権比率は悪化も、依然低水準

## ●その他有価証券評価損益

- 国内株式を中心に悪化

### <連結B/S>

(単位:億円)

	22年3月末	22年6月末	増減
1 資産の部合計	2,041,069	2,047,444	6,374
2 貸出金(銀行勘定+信託勘定) [貸出金(銀行勘定)]	850,359 [848,806]	826,398 [824,925]	▲23,961 [▲23,880]
3 うち国内法人貸出*1	477,719	462,203	▲15,515
4 うち住宅ローン*1	174,673	174,228	▲445
5 うち海外貸出*2	166,517	158,902	▲7,614
6 有価証券(銀行勘定)	639,644	660,375	20,730
7 うち国債	397,253	418,367	21,113
8 負債の部合計	1,928,074	1,935,787	7,712
9 預金	1,238,919	1,221,757	▲17,161
10 うち個人預金(国内店)	630,453	638,228	7,774
11 純資産の部合計	112,994	111,656	▲1,338
12 国内預貸金利回り差 (2行合算)	(21年4Q) 1.29%	(22年1Q) 1.28%	(21年4Q比) ▲0.00%
13 金融再生法開示債権*1	13,487	14,224	736
14 開示債権比率*1	1.50%	1.64%	0.13%
15 その他有価証券評価損益	8,127	4,999	▲3,127

\*1 2行合算+信託勘定

\*2 海外支店+ユニオンバンク・コーポレーション+BTMU(中国)

# 貸出金・預金

【連結】



●連結貸出金残高82.6兆円  
(22/3末比▲2.3兆円)

<22/3末比増減の主要因>

- 国内法人貸出 ▲1.5兆円
- 海外貸出\*1 ▲0.7兆円

\*1 海外支店+ユニオンバンクカル・コーポレーション+BTMU (中国)

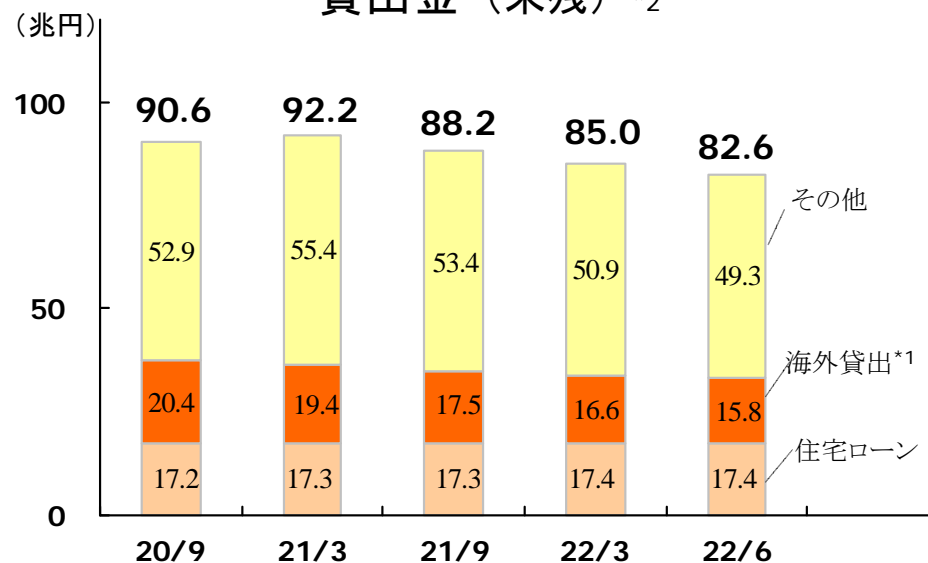
\*2 銀行勘定+信託勘定

●連結預金残高122.1兆円  
(22/3末比▲1.7兆円)

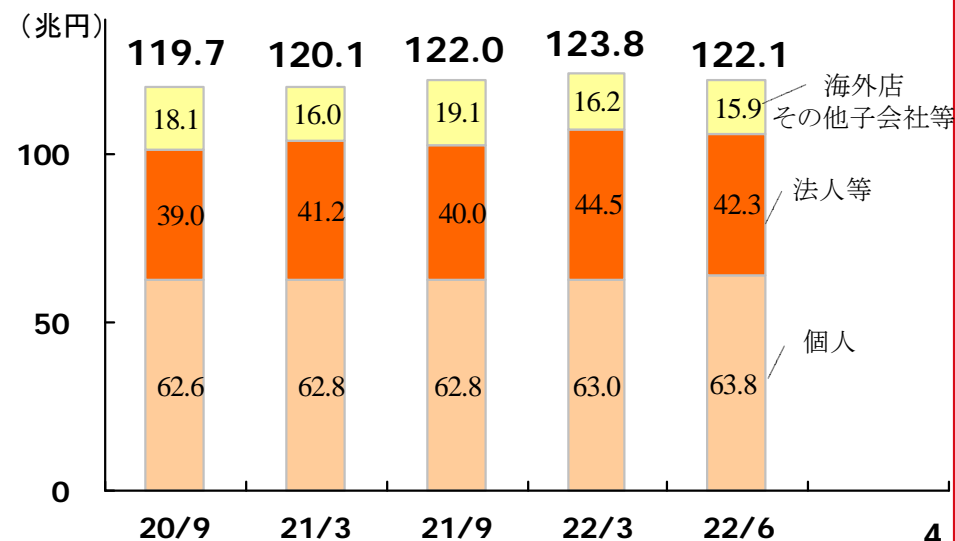
<22/3末比増減の主要因>

- 個人預金 +0.7兆円
- 法人等預金 ▲2.1兆円
- 海外店預金 ▲0.1兆円

貸出金 (末残) \*2

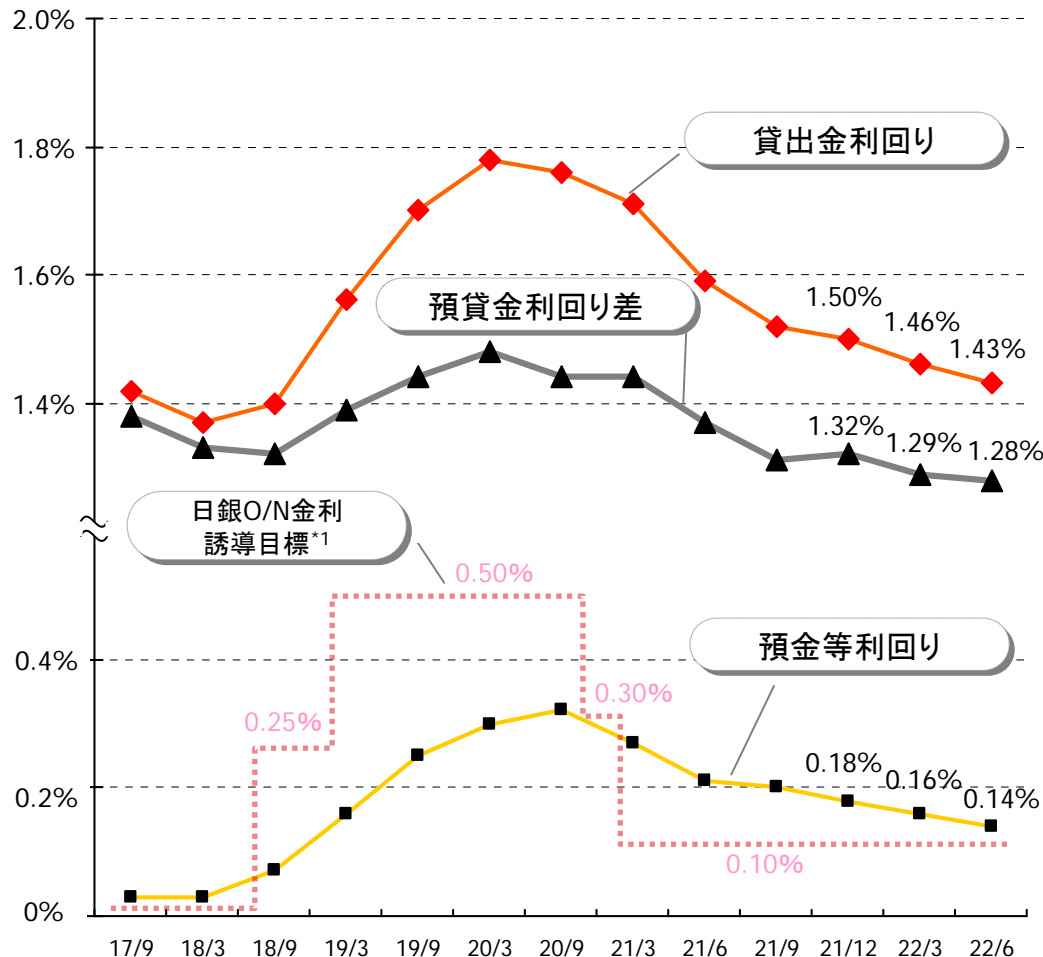


預金 (末残)



●22年1Qの預貸金利回り差は1.28%と前四半期比ほぼ横這い

## 国内預貸金利回りの推移



## 【金利改定状況】

- 20年11月4日  
普通預金金利 0.200% ⇒ 0.120%
- 20年11月20日  
短期プライムレート 1.875% ⇒ 1.675%
- 20年12月22日  
普通預金金利 0.120% ⇒ 0.040%
- 21年1月13日  
短期プライムレート 1.675% ⇒ 1.475%
- 21年4月1日  
新規住宅ローン変動金利  
⇒3月1日時点の短期プライム連動長期貸出金利を基準に変更
- 21年7月1日  
既存住宅ローン変動金利  
⇒4月1日時点の短期プライム連動長期貸出金利を基準に変更

\*1 量的緩和時は無担保コールレートO/N市場金利。量的緩和終了後は無担保コールレートO/N誘導目標

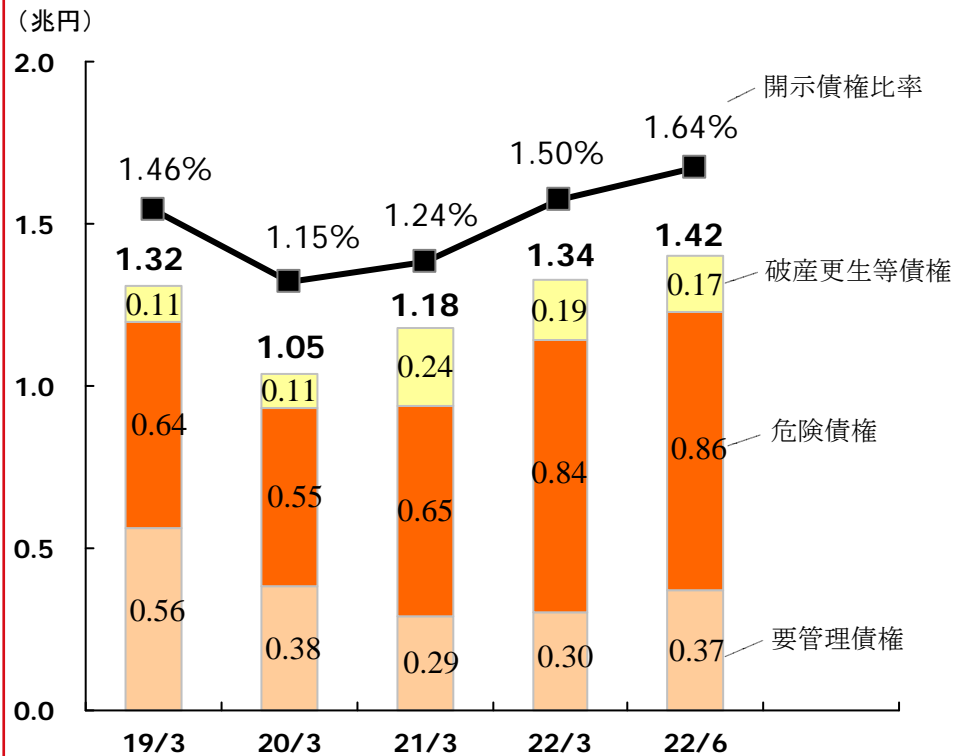
# 貸出資産の状況

【連結・2行合算】

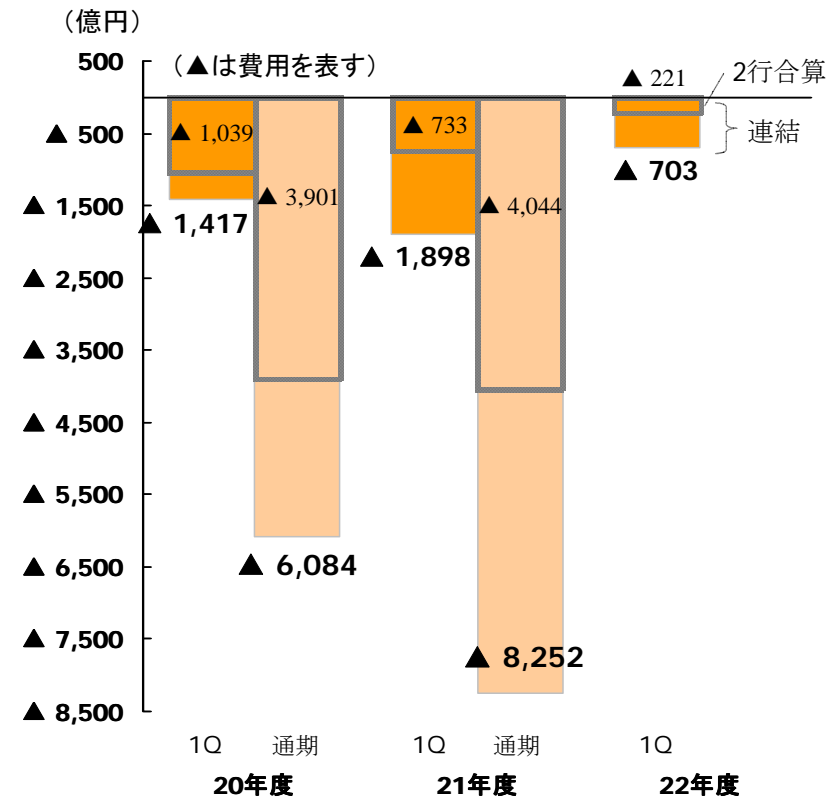


- 危険債権及び要管理債権の増加により、開示債権比率は1.64%と22年3月末比0.13ポイント上昇するも、引き続き低水準を維持。
- 与信関係費用総額は2行合算で221億円、連結では703億円の費用計上

## 金融再生法開示債権残高(2行合算)



## 与信関係費用総額



# 保有有価証券の状況

【連結】



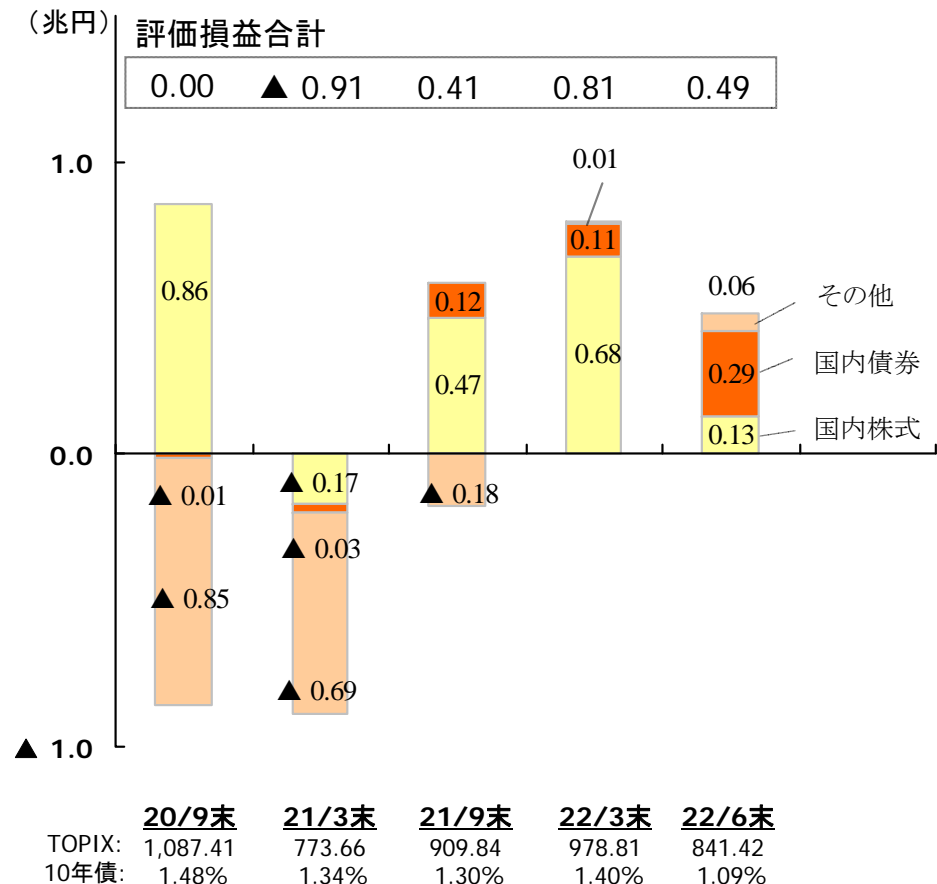
- 株式相場下落を背景に、国内株式の評価損益が悪化  
 その他有価証券全体の評価損益は22年3月末比3,127億円減少

## その他有価証券(時価あり)の内訳

(億円)

	22年6月末 残高		評価損益	
		22/3末比		22/3末比
合計	622,230	18,166	4,999	▲3,127
国内株式	36,557	▲6,215	1,332	▲5,484
国内債券	453,561	19,794	2,973	1,802
国債	408,594	21,114	2,314	1,515
その他	132,111	4,587	692	554
外国株式	2,365	▲460	329	▲406
外国債券	113,020	5,994	2,167	1,394
その他	16,725	▲946	▲1,803	▲433

## その他有価証券評価損益の推移





本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。